

石広水経審第 号  
令和 年 月 日

石巻地方広域水道企業団  
企業長 齋藤正美様

石巻地方広域水道企業団  
経営審議会  
会長 須能邦雄

石巻地方広域水道企業団水道料金のあり方について（答申）

令和4年2月28日付け石広水経第295号で諮問された石巻地方広域水道企業団水道料金のあり方について、慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

記

1 水道料金改定について

東日本大震災及び少子高齢化等の影響により、給水人口、給水収益の減少傾向が続き、今後も水需要の回復が見込めない中、高度経済成長期に建設された水道施設は、老朽化による大量更新の時期を迎えています。このような厳しい経営状況に対応しながら将来にわたり安定的な水道事業経営を継続していくためには、水道料金の改定はやむを得ないものと判断しました。

2 水道料金改定率について

投資・財政計画を基に、将来へ負担の先送りをせず、安定的な水道事業経営のため、平均2.0%引き上げとすることは、妥当であると判断しました。

3 水道料金体系について

口径毎の基本料金、水量料金等について、別紙のとおりとすることは、妥当であると判断しました。

4 水道料金改定時期について

今後、石巻地方広域水道企業団議会に諮り、早期に実施されたい。

5 付帯事項

- (1) 水道料金の改定にあたっては、広報紙やホームページ等を活用した周知を積極的に実施し、使用者の理解が得られるよう努められたい。
- (2) 投資・財政計画等については更なる事業の効率化、合理化に努め、定期的な見直しや経営状況の見える化を図り、今後の水道料金のあり方等についても積極的に情報を発信されたい。
- (3) 将来にわたり安定的な水道事業経営を継続していくために、今後においても、経営状況などを踏まえた適正な料金水準の検討を適宜、実施されたい。